



年次活動報告書

2022 年

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム



J.Y.P.S.
Japan Youth Platform for Sustainability

目次

ご挨拶	3
鈴木千花（事務局長）	3
田中梨奈（事務局次長）	4
本行紅美子（事務局次長）	4
JYPS の理念	5
活動内容	5
仕組みとガバナンス	6
事務局 部署一覧	7
政策提言部	7
普及啓発部	7
調査部	7
総務部	7
事務局長（事務局次長を含む）	7
2022 年 JYPS 事務局運営メンバー	8
2022 年度活動一覧	9
JYPS 事務局主催（共催）イベント	9
主要参加会議・イベント	10
参加ネットワーク	10
2022 年度 収支報告	11

ご挨拶

いつも JYPS の活動に関心を寄せていただきありがとうございます。

2023 年 3 月 31 日をもって、事務局長を務めてきた鈴木千花が退任します。

4 月 1 日より後任として、田中梨奈および本行紅美子が共同事務局長として就任いたします。

以下、現事務局長の鈴木、そして新共同事務局長の田中、本行（現事務局次長）からの挨拶になります。

鈴木千花（事務局長）

2020 年、アドボカシーの A の字も知らないところから興味本位で事務局員としての活動を開始し、若者の声が政策意思決定の場に届くまでの障壁の多さに驚愕し、その課題意識に基づいて活動を続けてきました。しかし、同時に、活動を通して出会ってきた多くの皆さまから刺激を受け、勇気づけられてきました。また事務局長として活動した最後の 1 年間は、不慣れなことも多々ありましたが、私自身にとって、非常に濃い経験となりました。

今後とも、事務局は、若者をはじめとする、社会のすべての人の声が衡平に、公正に届く社会を目指して活動を続けて参ります。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜れますと幸いです。

任期中にお世話になった皆さま、大変にありがとうございました。

田中梨奈（事務局次長）

4月より前事務局長鈴木千花の後任として、共同事務局長に就任します、田中梨奈です。いつもJYPS事務局に関心を寄せていただきありがとうございます。

私は、JYPS事務局には2022年度から参画し、政策提言部、また統括として活動してまいりました。この一年、ウィズコロナの時代として未熟ながら政府や国際会議、講演会の場に出向き、また、SDGsのプロセスに関わらせていただきました。

その中で、ユースの声に日々社会から向けられる注目や高まる期待を前に、改めて主権者としてのユースの重要性を感じています。今後、一層加盟員の皆様と協働し、ユースとしてのアドボカシーを持続可能なものにしていきたいと考えています。

今回このような形ではありますが、本行と共に共同事務局長として事務局内で承認をいただきまして、よりよい事務局とプラットフォームを築いていきたい所存であります。

今後もJYPS事務局をよろしく申し上げます。

本行紅美子（事務局次長）

この度、4月より前事務局長鈴木千花の後任として共同事務局長の一人として私、本行紅美子を承認していただきましたので、ご挨拶させていただきます。

これまでは自分がセクシュアルマイリティであることを自認してから、当事者としてそして若者としてできることを探りながら啓発活動やアドボカシーを行ってきました。JYPS事務局員となってからは市民社会組織の皆様と関わる機会を多くいただき、2022年9月からは調査部の統括として、JYPSの関連の若者団体やNGO・NPO団体との連携を担当してきました。

鈴木前事務局長は長くJYPSに在籍していただき、また、半年間お一人で事務局長という責務を担っていただいております。今後、田中と私とで支え合いながら関係していただいている皆様のお力添えをいただいて任を果たしたいと思っております。

様々な問題が顕在化している現代社会において求められるJYPSの役割は多岐に及ぶと思いますが、多くの若者たちに街中の問題について「知ってもらう」ための普及啓発活動、そしてそこから一緒に「声を上げる」ための政策提言活動、この2つを柱として活動してまいります。これからもユースの主体性ある活動のために一緒に歩んでいけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

JYPS の理念

JYPS は、社会のすべての若者が、公平に自らの意見を政策に反映させることを通じて、公平で公正な社会が実現された世界を目指します。

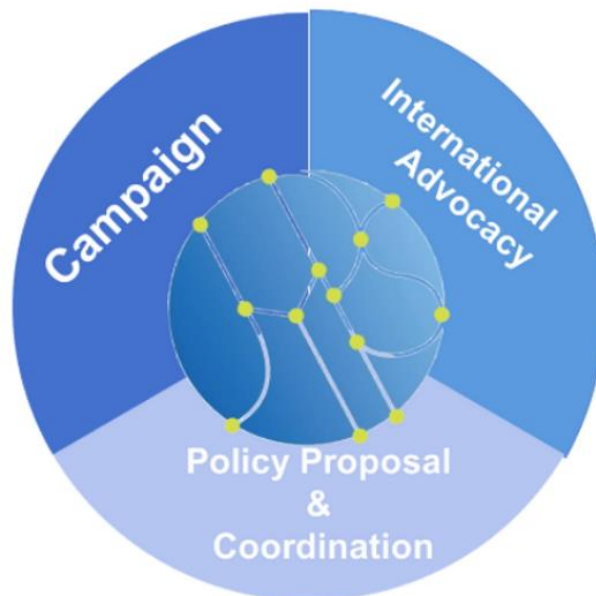
若者の意見を集約・調整する自治民主的な仕組みの設立、管理、そして改善をすることを通じて、若者が政府や国際的な枠組みに対しその意見を反映させることを可能にします。

活動内容

JYPS はアドボカシーのためのプラットフォームです。

アドボカシー活動は大きく分けて次の 3 つです：

1. 国際会議、国連会議、その他国際な枠組みを制定する会議とそれらの準備会合への参画
2. 政策文書作成、意見収集・調整を含む若者団体や若者個人の意見を政策提言にする活動
3. 政策提言を広く訴え、大きな支援を集め、人々を巻き込むためのキャンペーン活動



アドボカシーとして、政策提言、国連交渉参加、関係省庁との会議、キャンペーン、イベント、記事掲載その他を通じて、さまざまなバックグラウンドをもつ若者の声を実現することを通じて、社会を変革することを目指しています。30 歳以下の若者または、若者団体、もしくは若者のために活動する団体であれば、だれでも参加することができます。

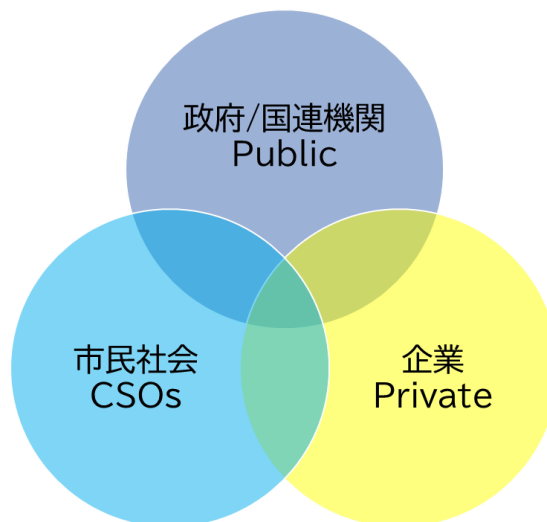
仕組みとガバナンス

JYPS では、活動テーマも団体の規模、地域も異なる多様な若者の団体が参加できるよう オープンで民主的な仕組みを採用し、代表制と民主制の担保を原則にプラットフォームを整えています。同時に、分野ごとの施文的な知識を最大限、政策提言に生かせるよう工夫をしています。

意見交換やキャンペーン、政策提言の準備などはメーリングリストにて行われており、メーリングリストに登録すれば、意見を表明する機会や議論に参加することができます。

若者団体からは、各団体が「ポジションペーパー」と呼ばれる国連などで議論されているテーマに対してどう考えているのかを記したものを公表してもらうこともできます。またそのような意見をまとめる作業にも、加盟している人はだれでも参加が可能です。

こうした機会を通じて、市民社会組織の立場、から未来・次世代を担う新しい「ステークホルダー」としての「ユース」の地位を確立すべく、政策提言活動（アドボカシー）を展開しています。



政策そして社会を変え、若者が安心して暮らせる将来、活躍できる場を作るためには、若者内で力を結集することが、必要不可欠です。

JYPS 事務局は、国際的な意思決定の場や SDGs に関わる国内の議論に、若者の場を確保すべく、そして、持続可能な社会を作るためのパートナーシップを構築していきます。

事務局 部署一覧

政策提言部

政策提言部は、政策の調整やアドボカシーを担当します。

「若者が政府や国際的な枠組みに対しその意見を反映させる」という JYPS のミッションを政策的な観点から主導する役割を担うのが政策部です。具体的には、JYPS 加盟団体や加盟員を調整し社会問題に関する政策提言/声明文の作成を主導したり、国内・国際会議に参加してユースの声を政策に反映したりしています。

普及啓発部

普及啓発部は、JYPS の活動の主軸であるキャンペーン活動を担当し、日本の若者をアドボカシーの流れに巻き込んでいくために日々、発信を行っています。また、各部署の一連の動きに合わせて広報部も連携して動くことで活動の影響力の最大化を図ります。

調査部

調査部は、JYPS に対して寄せられる若者の声を精査し、集約する仕事を担当しています。かつ、JYPS の関連団体との調整を行い、より多くの若者の声が政治や政策決定の場に反映させられるか研究を行っています。

総務部

総務部は、JYPS が日本の若者のプラットフォーム団体としてより大きく活動ができるように、その活動を下支えする部です。法律や経理を専攻している学生を中心に、自分たちの専門内容を活かした活動をしています。外部の方とも打合せを行う機会が沢山あります。

事務局長（事務局次長を含む）

事務局長は JYPS 全体の統括を行います。プラットフォームの効果を最大限に出し JYPS のビジョンやミッションを達成するためには、事務局員や加盟員、外部団体との関わりなど JYPS に関わるアクターとの繋がりや、そのアクターの間を繋ぐガバナンスやルール作りが必要不可欠です。したがって、最終的に日本の若者が意思決定に反映されるまでの一連のアドボカシー活動にあらゆるステークホルダーを巻き込みながら、加盟員やその活動を支える事務局員含む JYPS が積極的に取り組めるように上記の活動を先導していきたいと思っております。

2022年 JYPS 事務局運営メンバー

役職	氏名	
事務局長		鈴木千花
政策提言部	統括	田中梨奈※
	副統括	森井悠里香
		東忠透
		中島小百合
		尾迫志央理
		中原亮
		大野未楽
		飯塚理央
		北朱莉
		田家柚奈
		川和ニコラ
山内彩		
普及啓発部	統括	岡城萌楓
	副統括	成田そら
		渡辺あずさ
		近藤美宇
		岡村未来
		前迎聖美
調査部	統括	本行紅美子※
		岡本圭織
		遠山未来
		片岡理奈
総務部	統括	元島凜太

※事務局次長兼任

2022 年度活動一覧

2022 年度に JYPS が行った対外活動についてご紹介します。

JYPS 事務局主催（共催）イベント

- 2022.04.18 ECOSOC Youth Forum サイドイベントを開催
- 2022.07.20 第 3 回パリ協定と SDGs のシナジー強化に関する国際会議
サイドイベントを開催（COND・CYJと共催）
- 2022.07.30 アフリカ塾（国際協力×世代間対話）を開催
- 2022.08.28 Youth Summit 2022 を開催
- 2022.10.09 SDGs 実施指針改定に向けたユース会議を実施
- 2022.11.27 COND-CYJ-JYPS 合同ワークショップを開催
- 2023.02.25 W7 Youth Consultation Conference を開催



シナジー会議 提言書手交

Youth Summit 2022



主要参加会議・イベント

2022.06.10	参議院議員選挙立候補予定者による公開討論会に参加
2022.07.21	シナジー会議内でユース提言書を手交
2022.09.07	NEA Multistakeholder Forum on SDGs 2022 in Mongolia に参加
2022.11.24	ドイツ C7 からの引継ぎ式（C7 Japan キックオフイベント）に参加
2022.12.18	ワン・フェス・ユース JYPS プログラムを実施
2023.01.20	W7 Japan キックオフイベントに参加
2023.03.06	北極域実践コミュニティ トークセッションに参加
2023.03.17	SDGs 実施指針改定に関する提言書を岸田総理大臣に手交

参加ネットワーク

- SDGs 市民社会ネットワーク（開発ユニット、ユースユニット、ユニット統括）
- SDGs 推進円卓会議
- J-GBF（2030 生物多様性枠組実現日本会議）
- SRHR ユースアライアンス
- G7 市民社会コアリション 2023
- C7 Japan 運営委員会
- W7 Japan 運営委員会
- 広島市民社会サミット 2023

2022年度 収支報告

2022年度収支報告書				
2022年4月1日～2023年3月31日まで				
持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム				
科目				
I. 収支の部				備考
	補助金・助成金等収入			
		地球環境基金(2021年度事業に対する助成金)	435,000	
		SDGs市民者会ネットワークより助成金	96,664	
	謝礼金			
		日経BP/SDGsJapanへの寄稿に対する謝礼金	7,180	
		関西NGO協議会 高校生への講演に対する謝礼金	30,000	
		環境パートナーシップ会議 幹事団体参加費	53,100	
		SDGs推進円卓会議 参加費	38,000	
	寄付金		205,000	
	受取利子		6	
	前年度からの繰越金		1,316,155	
	当期収入合計		2,179,105	
※各事業について当該金額分の助成金を申請予定				
II. 支出の部				
	1. 事業費			
		ユースサミット事業費		
		経費	382,505	
		ユースアンバサダープログラム事業費		
		Zoomアップグレード費用	6600	
		JYPS Webinar 事業費		
		講師への謝金	30,000	1万円x3人
		SDGsパートナーシップ会議 参加経費		
		交通費	1,490	
	2. 管理費			
		Webサイト運用費	0	
		Wixプレミアムプラン費用	17,160	
		Wixドメイン料	4,400	
		秋リクルート広報費用		
		activoプレミアムプラン費用	6380	内消費税580円
		インスタ広告費	5500	
		各種会議への参加のための諸経費		
		交通費	49728	
		振込手数料	3400	
	当期支出合計		507,163	
	次年度繰越金		1,671,942	

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム

(Japan Youth Platform for Sustainability : JYPS)

JYPSは、「社会のすべて人々が、公平に自らの意見を政策に反映させることを通じて、衡平で公正な社会が実現される世界」というビジョンのもと、「若者の意見を集約・調整する自治民主的な仕組みの設立、管理、そして改善をすることを通じて、若者が政府や国際的な枠組みに対しその意見を反映させること」をミッションに活動しています。

【お問い合わせ】 : japanyouthplatform@gmail.com

【HP】 <https://japanyouthplatform.wixsite.com/website>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/JYPS2030/>

【Twitter】 <https://twitter.com/JYPS2030>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/jyps2030/>

文責：本行紅美子（事務局次長）